



豊洲新市場問題

地下空間を告発

日本共産党

←共産党都議団撮影の豊洲新市場の地下空間

「都政追及 共産が存在感」(朝日新聞)
「(盛り土問題)突き止めたのは共産党都議団」(毎日新聞)
――豊洲新市場の地下空間を突き止め、公表した共産党都議団の追及によって、豊洲移転は都政をゆるがす一大問題になりました。

移転は中止し、築地現在地での再整備を

再調査でも基準の100倍のベンゼンが検出されるなど、豊洲新市場予定地の土壌と地下水は、広範囲にわたり深刻に汚染されています。ことは都民の命と健康にかかわる大問題です。豊洲新市場にどんなにお金をかけても、食の安全・安心が保証されなければ移転はできません。

築地再整備こそ安全・安心の道

★「築地の汚染」を叫ぶ自民党発言は豊洲の汚染の深刻さを隠す「ためにする議論」であり、論外です。

★築地の再整備は十分可能。小池知事がつくった「市場問題プロジェクトチーム」でも座長が工事費500～800億円の再整備案を示しました。

★築地の老朽化や衛生問題は、石原都政以来、長年にわたり補修、改修を怠ってきたからで、自民・公明都政の責任です。

一方、自民・公明は

ごまかし、隠し事をした石原元知事と一緒に豊洲移転を推進

豊洲新市場予定地は東京ガス工場跡地。深刻な土壌汚染があることは当初からわかっていました。それにもかかわらず、数々のごまかしや情報隠しをして、移転を推進したのが石原元知事です。その知事と一緒に移転をすすめたのが自民・公明。自民党都議も「共産党を除く他会派と同一の判断で、知事部局と車の両輪となって…豊洲移転関連の条例や予算案などを可決してきた」(今年3月20日)と述べました。

なんか変?
野ファーストの会
都政の闇をつくった
公明と、なぜ選挙で
「協力」!?



↑「森友学園」の小学校建設現場

森友疑惑

独自調査、真相に迫る

日本共産党

「ファクト(事実)を示して政権を揺さぶる」(産経新聞)
「小池氏『爆弾メモ』存在明かす、森友問題自民関与か」(日刊スポーツ)
――日本共産党の追及が政権を追い込んできました。

世論とともに自民・公明を追い込んで籠池氏の証人喚問が実現。そこで安倍首相夫人らの関与をうかがわせるファックス文書が明らかになりました。また共産党が独自入手した首相夫人付け職員あての手紙により、関与の疑惑がますます強まりました。野党4党で一緒になって、首相夫人らの証人喚問を要求しています。

一方、自民・公明は

疑惑にフタ幕引きはかる

自民・公明は、野党と世論が要求している首相夫人らの証人喚問を拒否しています。

日本共産党を伸ばして野党共闘の発展 くらし第一の、まともな政治に転換を

国政でも都政でも闇をただす日本共産党

チェック機能、提案力…

フルに発揮

日本共産党

東京都議団

5万人分増設

認可保育園

東京都内の認可保育園の
定員増は
2倍以上

躍進前の
4年間
24600人

2009～2012年度

4年前に躍進した力で
増設アップ

躍進後の
4年間
53000人

2013～2016年度

待機児ゼロは認可保育園の増設を中心にと主張。私立高校生の授業料実質無償化や都立高校生向け返済不要奨学金拡充も実現しました。

都議会改革で

税金節約

知事・都議の税金の使い方改善を提案

海外視察のムダ遣い、公用車、政務活動費などの問題の改善を長年にわたり提案し続けました。

ついに実現。都議会改革

① 都議の給与

→→ 20%削減

② 給与とは別に議会に出る度費用弁償

→→ 廃止

③ 政務活動費

→→ 月額1人あたり 10万円削減

これからが肝心。くらし第一に転換を

これまでの都政は、苦しい都民の生活によりそわない政治がまかり通ってきました。元凶は石原元知事と自民・公明がすすめた福祉切り捨て路線。この路線を転換し、大型開発の予算を削ってくらしや福祉を充実させる必要があります。小池新知事のもと、一定の前向きの変化が始まっています。日本共産党を伸ばしてこそ、この一定の変化を「本物の前進」にすることができるのではないのでしょうか。

● 認可保育園を9万人分増設

● 楽しい学校 少人数学級の推進
わかる授業へ

● 千円パスの対象外で所得の少ない人に3千円のシルバーパス

● 特養ホームを2万人分増設

● 都議の海外調査の中止

● 中小企業や雇用の支援策拡充

● 豊洲移転は中止し、築地現在地での再整備で食の安全・安心確保を

伸ばして下さい。

必ず実現します 日本共産党

